

[ 成果情報名 ] 中輪、白花、一重咲きで爽やかな香りの鉢物用マーガレット新品種「伊豆 29 号」

[ 要約 ] 胚珠培養により、中輪、白花、一重咲きで芳香性を持つ鉢物用新品種「伊豆 29 号」を育成した。本品種は、マーガレットとハナワギクとの属間雑種であり、芳香性を持つ初めての品種であり、現地の適応性も高いことから、鉢物用品種として有望である。

[ キーワード ] 鉢物、マーガレット、新品種、伊豆 29 号

[ 担当 ] 静岡農林研・新品種開発部、伊豆農業研究センター

[ 連絡先 ] 電話 0557-95-2341、電子メール agriminamiizu@pref.shizuoka.lg.jp

[ 区分 ] 関東東海北陸農業・花き

[ 分類 ] 技術・普及

---

#### [ 背景・ねらい ]

マーガレットは、静岡県南伊豆地域の特産花きとして昭和初期から栽培されている。これまでのマーガレットに新しい花色等の新規形質を付与して市場性を拡大することが求められている。このため、マーガレットを種子親に近縁属のハナワギクの花粉を交配し、胚珠培養を利用して新しい形質を持つ属間雑種の育成が望まれていることから、新品種を育成する。

#### [ 成果の内容・特徴 ]

- 1 . 育成経過：平成 18 年 4 月中旬から 5 月中旬にかけて、マーガレット「サンデーリップル」を種子親にハナワギク（花弁色：桃色）の花粉を交配した。交配組合せは第 1 表のとおりである。交配 3 週間後の管状花から胚珠を無菌的に摘出し、IAA0.2mg/l を添加した 1/2MS 培地に置床し、25 16 時間照明下で培養した。発芽個体を同年 10 月以降に順次鉢上げし、平成 19 年 4 月に伊豆農研センター南伊豆圃場に移して開花特性を中心に選抜した。これらの多くは、これまでのマーガレットにはない芳香性を有し、中でも育成系統「06-1007」は、爽やかな芳香が特に強く感じられた。その後、平成 19 年度に現地適応性試験を行い、有望性が確認できたことから、育成系統候補「伊豆 29 号」とした。
- 2 . 生育特性：「伊豆 29 号」は、中輪タイプの一重咲きの白花で、花にはこれまでのマーガレットにはない芳香性を有する。開花時の草姿は比較的コンパクトで鉢物用に向く。
- 3 . 現地適応性：「伊豆 29 号」は、現地における挿し芽後の発根も良く、比較的コンパクトに開花し、これまでのマーガレットにはない爽やかな香りがあり、鉢物用品種として評価された

#### [ 成果の活用面・留意点 ]

- 1 . 種苗法による品種登録を出願予定であり、栽培にあたっては静岡県との許諾契約が必要である。

[ 具体的データ ]

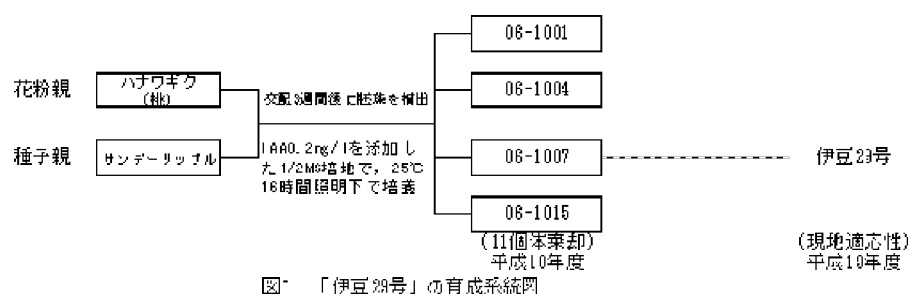


表1 「伊豆29号」の生育開花特性<sup>①</sup>

系統名	葉の形質									開花		花 色				選 抜	
	草 型	草 丈	葉片幅	葉の太刺	葉縁の鋸歯	鋸歯の粗密	葉身長	葉身幅	葉色 <sup>②</sup>	開始	花 径	花 型	香状花	管状花	臭 気		芳 香
伊豆29号	中	長	極狭	深	深鋭	中	短	中	緑	11月上	中	一重	白(基部黄)	茶	-	+++	B
サンデーリップル <sup>③</sup>	広	中	狭	深	深鋭	粗	短	狭	淡緑	9月上	小	一重	白	黄	+	-	-
サウーリップル <sup>④</sup>	中	長	極狭	深	鈍	粗	短	中	緑	10月下	中	一重	白	黄	+	-	-

<sup>①</sup> 生育特性は種苗分類調査報告書(マーガレット)による栽培期間中の観察調査  
<sup>②</sup> 葉色は「在来白」(緑)を基準とした場合の濃淡等による観察調査  
<sup>③</sup> 無(-)~極強い(+++)  
<sup>④</sup> 選抜基準、A: 切花用、B: 鉢物(花壇)用、C: 交配素材、×: 棄却  
<sup>⑤</sup> 対照品種

表2 現地適応性調査の概要<sup>①</sup>

系統名	草 丈	花 径	花 型	花 色	開花時期 <sup>②</sup>	現地生産者の観察状況	評 価 <sup>③</sup>
伊豆29号	中	中	一重	白	2月	挿し芽の発根が良い(A、B <sup>④</sup> )、爽やかな香りがある(B) 草姿が「サンデーリップル」に似てまとまりが良い(B) 花弁の縁に薄く桃色が入るときがある(B)	○
サンデーリップル	中	小	一重	白	2月	対照品種(マーガレット)	-
ピーチクイーン	中	中	一重	浅橙	2月	対照品種(マーガレット×ハナワジク)	-

<sup>①</sup> 花径、草丈等の特性は「在来白」を基準に記載(特性調査基準に準拠)  
<sup>②</sup> 1月下旬鉢上げにおける開花時期  
<sup>③</sup> 伊豆の国市(A)、二島市(B)  
<sup>④</sup> 評価、×: 適さない、△: やや適する、○: 適する

図2 「伊豆29号」の栽培状況



[ その他 ]

研究課題名: 放射線を利用したマーガレット等伊豆特産花き新品種育成における突然変異利用法の開発研究

予算区分: 国交(放射線)

研究期間: 2007年~2011年

研究担当者: 岩崎勇次郎、稲葉善太郎